

「中国呼和浩特市 于波(ユボ)さんのホームビジット受入れ」

市政だよりで、呼和浩特市からの青少年の、ホームビジット受入れ家庭募集案内を見て目が輝きました！楽しそう～！何日かかけて家族の了解を得て、めでたく申し込みすることができました。

当日の朝、友人と一緒に迎えに行く予定でした。でも上手く会えず、于波さんと一緒に風が冷たくて寒いロータリーで待ったり、車内で待たせて私はロータリー付近を走り回ったり。ユボさんは「大丈夫」と言ってくれたけど、本当は不安だったと思います。反省。

その後友人と無事に会えました～！

よかった～

まず初めに門前町にある隨念寺に行きました。お寺に向う車内で「ユボさんの宗教は何ですか？仏教？キリスト教？」とジェスチャーを交えて聞いたけど通じず、その後も何度か質問したけれど、結局最後までわかりませんでした。

隨念寺は戦争で焼けなかったので 400 年前、250 年前の建物がそのまま使われています。本堂に入りお賽銭の説明をしようと戸惑っていたら、ウボさんが自分の財布から 5 円玉を出して見せてくれたので、中国でも「5 円」＝「ご縁」みたいな良い意味があるのかな？と妄想したり、引率者の先生から教えてもらったのかなと思ったり。聞いてみたかったけど質問する言葉が思いつかず諦めました。

敷地内に灯籠があったので、岡崎市は石製品が有名だと伝えたけど、わかったのかな～

その後バローに行きました。海産物がそのままの姿で売っていたので、指をさして「これはサバ」だよ、と言うとユボさんが「サバ」と真似します。今度は「シーシェンマ？（中国語でこれ何？）」と尋ねると中国語で答えてくれるので、私がそれを真似する。親子になったり立場が逆になったり、楽しい買い物でした。

帰宅して「どうぞ」と家に入るよう促したら、靴を履いたまま上がったので「玄関で脱ぐんだよ」。私たちの当たり前が当たり前じゃないこの感覚、面白い！

お昼からは我が家でランチ持ち寄りパーティーをしました。ウボさんを含めて 13 人。

みんな多言語の自然習得をしているヒッポファミリークラブのメンバーなので、今回集まったメンバーは全員中国語で簡単な自己紹介ができます。ユボさんは 1 人 1 人が話すたびに「すごい、すごい！」の連発。私たちもほめてもらえて嬉しかったです。また、当クラブの青少年交流プログラムで、昨夏中国蘇州の太湖大學堂で 12 日間、中国の子たちと一緒に寮生活を体験した小 5 の女の子は、現地で覚えた経典を披露してくれました。ウボさんも高校で習って知っていて、声をそろえて一緒に詠ってくれました。感動！

お土産に黒レンガ茶を頂きました。生まれて初めて見る茶葉で、書道で使う硯みたいにカチカチ。割って急須に入れて抽出して、ミルクティーとして飲むんだよと教えてくれました。そういえばタビオカミルクティーを売ってるお店のメニュー表に、黒何とかというドリンクがあったような・・・。

せっかくなのでみんなで飲んでみよう！と思ったものの、固すぎて手で割れない。包丁の角や持ち手部分でたたいても変化なし。工具箱からトンカチとドライバーを取り出してたたいてもびくともしない。大き目のカッターナイフで削いでみたら、30 分ぐらいかけてようやく大きじ一杯分取れました。お湯を注いで飲んでみたら、ほうじ茶とプーアール茶の中間みたいな味でした。しまった！ミルクティーにして飲むんだったんだ～!!!!!!

あ～もう手遅れ。

後日、ご実家が建築業を営んでいる友人に、のこぎりとかミノ、電動のこぎり等で、一度

に飲む位のサイズに細かく切ってもらいをお願いしました。試行錯誤を繰り返しながら、ネットでも調べながら硯のような茶葉に立ち向かってくれました。その結果、茶葉が斜め方向に圧縮してあることが判明し、キリで真上から叩いても削れないけど、斜めにスライドさせるように削っていくと剥がれていくことがわかりました。少し削っただけでもたくさん茶葉が取れたので、相当な量を圧縮してあることがわかります。

ブーム到来の時には業務用スーパーなどで冷凍タピオカが販売されていました。今でも売ってるのかな？あれば本場に近いタピオカミルクティーを作ってみんなで飲みたいと思います。

今回ウポさんをホームビジットとして受け入れて感じたことは、「やっぱり交流は楽しい!!!!!!」です。日本人同士なら一瞬で伝えられることに長時間かかったり、言いたいことが言えなかったり。また、当たり前前に生活していることでも、他の国の人にとっては理解できないことだったり。世界の人たちと繋がるたびに視野が広がることが再確認できました。

海外に出かけなくても、日本に居ながらにして交流できるホームビジットは、楽チンで楽しくて最高！

また機会があれば申し込みたいです。

ありがとうございました。